

主事



淨寫

校合

發付内

七月一日



三十年六月廿日

主務

立案者

大臣 次官



經理局長 代理



第三部長

總務



軍務局長

軍事課長



以指令案

橫建第四五八号上申 横須賀測器庫標時球室
新當任置變更ノ件 認許ス

明治三十年七月一日

海軍

0090

横建第百九十八號

横須賀測器庫標時球室新營

位置變更，件上申

本年年度豫算，營業經費新營費，横須賀
 測器庫標時球室新營之裁去別紙圖
 面甲歸，朱點之位置，建議該事，由
 定相，朱點之位置，別紙理由書，通測器
 庫主管，其位置變更相，朱點之位置，有
 之實際，不請止，裁去之別紙圖，面乙号
 之通，位置變更，其位置，條法，認行，相
 夜，司令，長官，商，藏，濟，比較，上申，也

明治三十年六月廿五日

0091

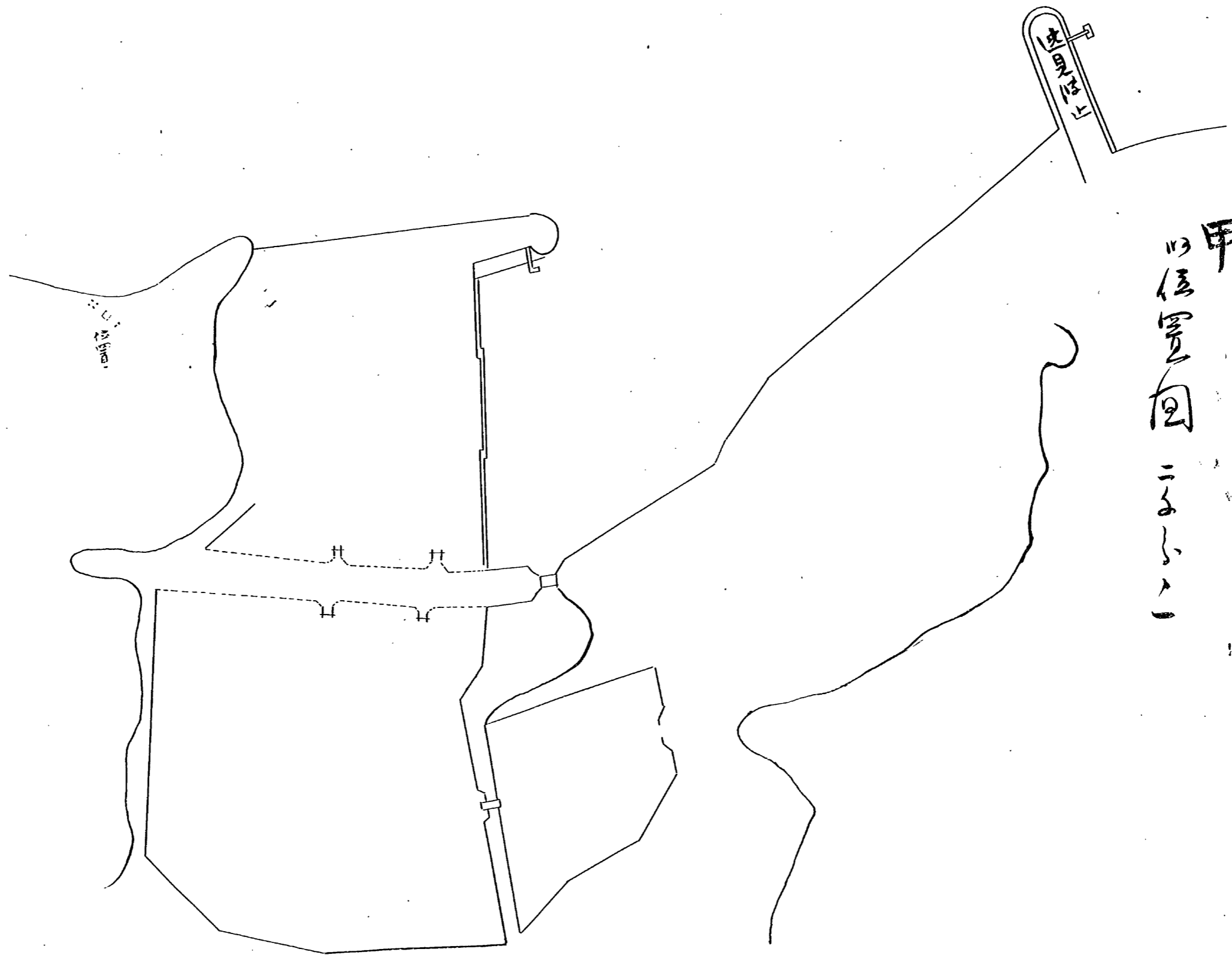
海軍

横須賀鎮守府監督部長代理

海軍主計少監 神山昌武 藏

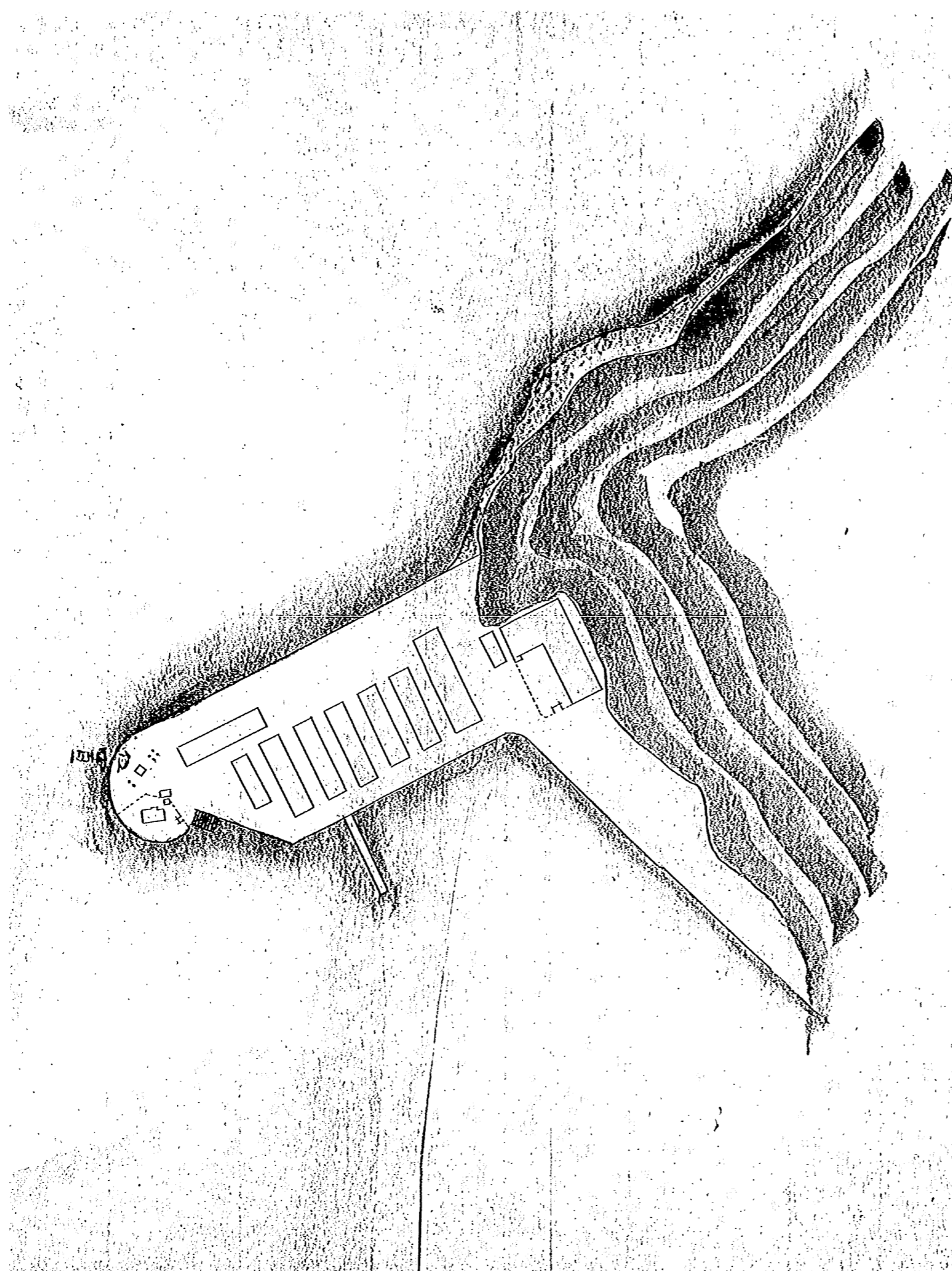
海軍大臣侯爵西郷從道殿

0092



甲
信濃國
下

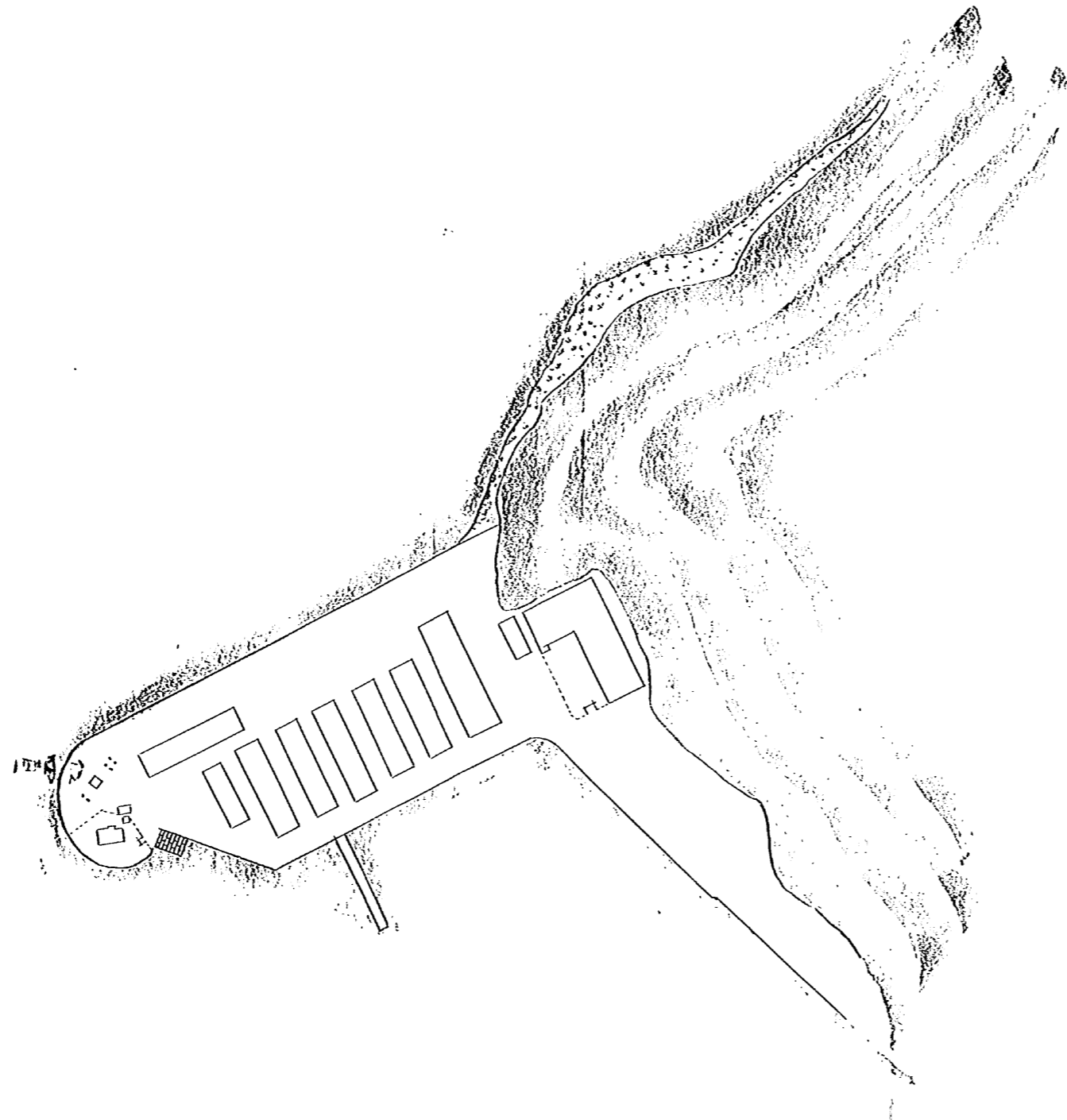
0093



新
信
置
回
ニ
ヨ
リ
ノ
一

乙

0094
0095



新位置回

乙

0094

0095

報時球建設位置變更ニ関スル理由書

報時球ヲ別紙甲圖ノ位置ヨリ以テ建設地上豫定セシ當時ニ在
 ツテハ山岸切取り計畫ニミテ成工ノ上ハ當庫ヨリ該位置ニ於ケル
 報時球モ達觀ニ得又々在軍港各艦船ヨリモ充分對觀ニ
 得ラル見込ヲ以テ適當ノ位置ト相認メタル次第ニ有之然
 處貴科ニ於ケル山岸切取り工事計畫ノ實況ニ於テ右豫
 定ト稍相違ノ虞有之即チ山岸切取り部分少許ナルヲ以
 テ當庫ト該位置間トノ視線中尚ホ山岸突出ニ遮障アルカ
 為メ該球ノ所在ヲ達觀スルコトヲ得サル一大障礙是レナリ元來
 報時球ニ對シテ原動力ヲ有スル當庫ニ於テ其ノ昂落動作
 ノ遲速ヲ視定スルコト能ハス果シテ正確ナル時刻ヲ表示シ
 タルヤ否ヤヲ瞬睫ノ間之ヲ視定スルコトヲ得サルモノトスレハ甚

ガ不便ノ位置ト相認ム殊ニ報時ノ効用完全ナラズ故ニ未建設
ノ今日ニ於テ其位置変更セシトスルニ最モ必要ナル事
實ナリ

其位置已ニ前述ノ如ク不便ナリ之カ爲実兩年ノ効用ヲ得ント
スル位置ハ別紙乙圖ノ場所ニシテ此位置ニ建設スル中ニ在軍
港各艦船ハ勿論当庫ヨリモ其所在ヲ達觀ニ得テ即チ報時球
昂落動作ノ遲速ヲ視定ニ得ルヲ以テ實際報時球ノ効用ヲ完全
ナラシムルニ適當ノ位置ト更ニ撰定セリ

右理由ト實地トヲ御對査建設相成候様切望致矣也

明治三十年六月十七日

高杉測器庫主任官印

渡邊建築科主任官殿

0097

海軍

あはれなる電報をよみしに
 海軍省の電報に
 五月八日午後五時
 東京から
 海軍省へ
 電報あり
 内容は
 海軍省の電報に
 五月八日午後五時
 東京から
 海軍省へ
 電報あり
 内容は
 海軍省の電報に
 五月八日午後五時
 東京から
 海軍省へ
 電報あり
 内容は

0098